

自分ながら得々とするのでありませう。さあ立つて後先生の台圖に子供は再び注意しながら其の方向に歩いて參ります。其の時も前と同様に自分で自分の耳に聞える音に氣をつけて進んで行くのであります。即ちこの様なのは一例に過ぎませんけれども其の外からは唯ほんの僅かの刺戟のみしか與へず他は悉く内的刺戟によつて幼児自らがそうするのであります。そして幼児は先づ足の筋肉を調節した結果として音をたてずに先生の所に行けた。その事に無上の満足を感じるものであります。この様なのを稱してモンテッリーの自動教育といつて居ります。其の根底に横はる考へは我と云ふものは我々が外から教育しないでも其の我の力によつて幼稚園で要求する様な事は行ひ得るものであります。(未完)

幼児の自由か保育者の豫定か

附屬幼稚園 ム ラ サ キ

幼稚園で保育の手段としていろいろの作業をするのに、これを幼児の自由意志に従つて選擇を任すべきであるか、或は保育者の設定のもとにするべきものであるか。この問題については當園を參觀せ

られた方々や、又地方からわざわざ、お問合せなども屢々あります。それで現在私共のやつております方法をあらまし申し上げてこの問題に對しての御參考に供しませう。

保育の項目と申しませうか、

お話、唱歌、遊戲、自由畫、ぬりゑ、粘土、紙仕事、きりがみ、つなぎもの、織紙、大工仕事、
觀察

などをとつております。これ等を大體一週間の豫定案としてふり分けて、時間割の様なものをつくつておきますけれども、天氣の都合や幼兒の様子によつて時々豫定通りにはなかく、まゐりません。繁雜になるのでわざと分團保育をさけて一齊保育として、例へば左の如き豫定を立てます。

月 お話 自由畫

火 遊戲 紙仕事

(ボール、紙などで家具をつくる、共同製作のときもあれば個人製作のときもある)

水 唱歌 粘土

木 お話 ぬりゑ 觀察

金 遊戲 自由畫

土 唱歌 きりがみ

毎日の在園時間を朝九時より午后一時半までとして居りますが、月曜日ですと大抵幼兒は九時半頃

になると出揃ひます。それを見はからつてお話を始めます。大きい組の人たちは幼児自身も時々お話を始めるかはり、一つのお話位ではなかく承知しないで、大抵二つ三つになります。

次は自由畫の豫告をうけると、幼兒は各自の筆筒から帖面や筆箱をもち出してかきはじめます。このうち數名づゝはかはるがはるに黑板畫にすることに決めております。描く題材や使用するクレヨン色鉛筆等も幼兒の自由です。かき始めは皆一緒にしても一枚でやめさせさつさと自由遊びに移る兒や二枚三枚も得意になつて一時間ほど描いてゐるものもあります。自由畫に限らず、粘土でも紙仕事(個人)でもまたきりがみなどでも大體これと同じ形式をとつております。

ぬりゑ、織紙の様なものとはかくそれが出来るまではつゞけてすることにしておりますから、早く出來た人は早く自由遊びに移るわけになります。大體午前の始のうちに作業をつゞけて、後を自由遊びにしておりますが、冬季さむくて指さきの自由にならない時は特に午后を使ひます。しかし自由遊びで疲れて午前中ほどの成績はあがらない様です。

自由選擇といふ事を幼兒には如何程まで徹底して出来るかは疑しい事であります。數年前に時々一週間位づゝ續けて自由選擇をやつてみた事がありますが、その選擇の様子を觀察してゐると、全く自己の意志できめる事はごく少くて、お友達が粘土をやるから自分も粘土をする。又大工仕事はしばらくなかつたから、我も我もとやり出す様に珍らしいものを好む心からで、判然と大人が自分の得意と

し長所とするところを見出してその専攻學科をきめるといふのおもむきを異にしてゐるのであります。

要するに幼稚園の作業種目は大體において幼児の力に適する程度のものでありますから、幼児自身の興味の深淺こそありますが、きらひだからやらせないといふ我儘をおし通させない様にしたいたいものです。尤も入園當所には何をしてもいや／＼といふ幼児もよくありますが、お友達のをやるのを見てゐるうちにだん／＼ひき入れられていつの間にか仲間入りをするのであります。それを保母の氣短で早く／＼と強ければ幼児の方ではかへつてこれをさけるのであります。二年保育のうち在園中にどうしても他人と一緒に何事もしなかつたといふ幼児はほとんど見ない様に思ひます。最後にこれは私共が指導を受ける先生からま／＼伺ふ事ではありますが、保育の項目は一度きめればそれを唯一のものとして長年これにのみ従つて一つの形をつくり上げるものでなく、常に時流に従つて取捨選擇すべきものでありませう。

